

議案質疑・一般質問

12月定例会では、各党派等から33名の議員が通告に従い、議案に対する質疑と市政各般にわたる一般質問を行いました。

紙面の都合により、そのすべてを掲載できませんので、その一部をご紹介します。

災害・防災

台風災害の市の取り組みを問う

(自民クラブ)

問 昨年9月29日の台風21号は、市内に死傷者を出し、施設や農林業等にも、大きなダメージを与えた。その中でも飯岡大浜の社会福祉法人「星の里」は長谷川のはん濫により甚大な被害を受け、入所者は市内2か所の施設に分かれ、心身とも不安状態で生活をしている。

市は、入所者が安心して生活できるようにどのような復旧プログラムを考えているのか。また、他の社会福祉施設も含め、施設が被災した場合の危機管理マニュアルの策定や、県に対して早期の安全対策工事の要望についてはどのように考えているのか。

答

復旧プログラムについては、四国厚生労働局等の災害査定を受けており、利用者が一日でも早く従来の生活に戻れるよう、11月6日から着工し、本年度末の完成を目指している。

危機管理マニュアルは、阪神・淡

路大震災以降、実社会に対応したものを策定しており、その方針に基づいて毎月1回の避難訓練を実施し、訓練を通じて職員、入所者の意識の啓発と高揚を図っている。

長谷川、大浜の復旧工事は、県と市で平成18年度までの3か年でやっていく。国、県への要望については、治山事業や砂防ダム等の早期実現が必要であるため、今後とも強力に続けていきたい。



被害の大きかった「星の里」周辺

新市地域防災計画の策定と防災行政無線の整備は

(周桑自民クラブ)

問

今年度は、地球温暖化の影響を受け、度重なる台風で過去に例のない被害を受けた。台風や地震などの災害に備え、新市地域防災計画の策定や住民に正確な情報を周知するために防災行政無線の整備を早く進めるべきだと思いが、どう考えているか。

答

新市の地域防災計画については、今年度の一連の台風災害で得た多くの教訓、問題点を踏まえ、災害の原因究明、災害時の情報収集、対応方法など、総合的に十分調査・研究し、専門家の意見を聞きながら当市の特性に応じた災害対策計画を策定すべきであると考えている。

このため策定には通常の1年程度より若干期間を要すると考えている。策定までの間については、暫定的な防災計画により対応したい。

防災行政無線については、旧東予市の地域防災無線を移設して、本庁と各総合支所及び消防署間の通信体制を確保するとともに、旧市町の防災行政無線を継承して使用している。屋外拡声子局や各家庭、事業所などに個別受信機を設置し、市役所から直接地域住民に災害情報を伝達する同報系防災行政無線の整備については、東南海地震の対応としても必要性を感じているが、機器が高価であり、拠点整備の問題もあることから、移動系防災行政無線の整備とあわせて、地域防災計画を策定する中で、検討したい。

災害に強いまちづくりを

(日本共産党議員団)

問

昨年の秋の台風により、当市は甚大な被害を被ったが、災害に強いまちづくりを推進するためには浸水予防対策を見直すことが必要であり、そのためには防災課や浸水対策課を設置すべきではないか。

答

平成10年に浸水対策プロジェクトを立ち上げ、浸水箇所の解消に努めてきたが、調査検討されたうちの8地区については整備済みあるいは整備中である。その他の箇所については地元の協力が得られず整備に至っていないが、協力が得られるよう引き続き努力していきたい。

なお、防災課、浸水対策課の設置については、当面は現行の組織を維持し、課内での協働協調、流動的職務体制によって効率的な事務執行にあたりたい。

救急

消防・救急車の緊急出動体制について問う!

(周桑自民クラブ)



迅速な対応で市民の生活を守る(東消防署)

問

消防車、救急車の緊急出動体制について、市で連絡を受けてから出動までの手順と体制、合併前と現在の体制の相違点、緊急連絡を受けてから現地到着までの各地区別の所要時間を問う。

答

合併に伴い、通信指令本部が旧西条市消防本部と決定し、消防緊急通信指令システムは、旧周桑消防を旧西条消防に統合し、東消防署と西消防署の出動手順を統一した。

災害現場の確定は、受信時にN T T発信地表示システムと地図検索装置を連動させ、瞬時に行う。ただし、携帯電話からの場合は、付近の目標物等の聞き取りにより確定する。

出動指令は、地図検索装置と自動出動指定装置を連動し、受信中に場所、災害種別が確定すると予告指令を出し、受信後、出動指定装置が署出張所、出動車両を瞬時に選定、無線と連動し、機械音声により車両に指令を出す。

出動体制は、消防隊は署所管轄方式を採用し、ナビゲーションシステムにより災害地を車両積載の端末地図上に表示、誘導し出動させる。救急隊は現場直近出動方式を採用し、現場に近い高規格救急車を優先出動させる。

各地区の中心までの到着に要する時間は次のとおり。

旧西条は東署から神拝・大町で約4分30秒、神戸で約7分、氷見で約10分30秒。

旧東予は西署から壬生川・三津屋・本河原で約5分30秒、三芳で約7分、河之内で約8分30秒。

旧丹原は西署から徳田で約5分20秒、中川で8分30秒。

旧小松は西署から小松総合支所で約7分20秒、りんりんパークで約6分40秒。